



2016年11月15日
第596号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org <http://www.ewaosaka.org>

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 大橋 裕子

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

賃金・一時金団交 「評価・育成システム」の不公平性が露呈！！



11月10日、大阪府・府教委との賃金・一時金団交1回目が開かれました。

組合が申入れた要求書への回答は、例年と全く変わりのない内容でしたが、今までにない新しい回答がありました。

「評価・育成」システムの結果が賃金反映されることとなった2006年度から2015年度の各年度における評価結果の年代、職種、性別による分布の公表要求に対して府教委は、「昨年8月に制定されたいわゆる『女性活躍推進法』に基づき今年の4月に行動計画を

立てた際に、男女別の人事評価結果を公表した」と回答したのです。府教委は、「性別にかかわらず公正な評価・登用が各役職段階で行われているか」を検討する際に、把握すべき項目として示されたことから調査したとしています(下図:「公立学校における特定事業主行動計画」53頁)。

○評価・育成システムにおける結果分布

	SS	S	A	B	C	合計
全体	0.9%	33.1%	64.2%	1.7%	0.04%	100%
男性	1.3%	35.0%	61.7%	1.9%	0.06%	100%
女性	0.5%	31.2%	66.8%	1.5%	0.01%	100%

※上記表における数値については、端数処理等の関係上、合計値は100%とならない。

どのような結果でも結局正当化

府教委は今まで組合に対して、「分布結果の公表は、評価者である校長の他事考慮を招くことになる」、「評価は適正に行われているのだから検証のための公表は必要ない」、と回答をしてくれませんでした。公表されたこの結果から、「府教委は何を読み取るのか」という組合からの指摘に対して、「単年度の評価の積み重ねであり、何も読み取ることはない」と回答しています。また、この結果では、SSやSなど「優れている」とされる評価が男性に偏っているのではないかと追及する

と、「一緒が正しいとは思わない」という極めて悪質な考え方まで表明しました。出された宿題の意図を読み取ることができないのでしょうか？

また、「授業アンケート」等について教職員にアンケートを取る予定であると6月の団交で回答した件については、予算を要求している段階であり、進捗のない状況であることも判明しました。紙と鉛筆があればできるはずのアンケートを、「教職員の負担を減らしたい」などとして、匿名性のないICT経由のものとする可能性があり、組合からは怒りが再びわき上がりました。

全国唯一の賃下げ勧告となっている人事委員会勧告については、まだ検討中であるとし、次回11月16日に第2回団交が開かれます。酒井さとえ(書記長)

堺市放射線授業問題 組合の追及で次々と明らかになる事実！！

すでに、本紙594号や組合HPでも報告している堺市立小学校での「放射線授業」問題ですが、その後状況は大きく動いています。

堺市議会での議員による追及、「朝日新聞」の2度の記事掲載、文部科学省の対応、そして、こういった動きと並走しながら堺支部は2度にわたる団体交渉を行って堺市・堺市教委を追及してきました。

この間の動きの中で明らかになってきた事実は以下の通りです。

今回、問題になったエネルギー・環境理科教育推進研究所(以下「エネ理研」)が堺市内で行なった出前授業は'14年度小3校・中1校、'15年度小6校、'16年度小10校・高1校(うち小4校・

高1校で既に実施、残り6校は中止)。

エネ理研以外に関電主催の出前授業が'13年度小7校、'14年度小15校、'15年度小5校で実施されている。中には毎年実施の学校もある。

エネ理研の出前授業および教職員セミナーには文科省の委託事業として補助金が措置され、2015年度の場合は金額6700万円で出前授業226回、セミナー66回実施。

「食物を通して(放射線が)体に入る。良かったねえ」「なんか(事故が)あった時は鉄板だらけの服を着て歩いちゃう」というような授業を全国展開しているエネ理研、そこに補助金をつぎ込んでいた文部科学省は罪深いと言わざるをえません。

さて、堺では結局、組合と

議員双方からの追及、当該校の保護者の真摯な異議申し立てによって今年度の残りの授業は中止され、きっかけとなった南区のA小学校ではやり直し授業が実施されることになり、校長が要望書を提出した4名の保護者に謝罪しました。

しかし、堺市教委・学校は今回の事態を、たまたま今回来た講師の特定の発言だけを問題として事態を收拾しようとしており、エネ理研の出前授業自体やその構造にメスを入れるつもりはありません。また、今回保護者が声をあげた学校以外の実施校での対策は放置され、全実施校での謝罪も予定されていません。

さらに、議会での質疑以後、

堺市教委が大阪府大放射線研究センターの某准教授にやり直し授業について「相談」し、准教授がそれを受けて虚偽と偏見を交えた記事をmixiにアップしたため、准教授が市教委に謝罪するという第2幕も起きています。

このような「出前授業」を考え直すための「今さら聞けない放射線ってなあに？」という集会が堺で予定されています(11月27日(日)13時30分、カトリック堺教会)。

いずれにせよ、本来、このような問題の一番の抵抗線は現場の教員であるはずですが、現場から抗議と拒否の声をあげていこう！

竹林隆(特別執行委員)

大阪朝鮮学園「高校無償化」「補助金不支給」裁判大詰め!

11月10日夕刻、朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪事務局主催による、『朝鮮学校(ウリハッキョ)のためのヨドバシカメラ梅田前街宣行動2016』に参加しました。

大阪朝鮮学園は現在2つの裁判を闘っています。ひとつは「高校無償化裁判」です。2010年4月から、教育の機会均等を目的とした「高校無償化」法が施行されました。しかし文科省は、様々な外国人学校にも「高校無償化」が行き渡っている中、朝鮮学校を「高校無償化」の対象から除外しました。



大阪朝鮮学園は2013年1月24日、大阪朝鮮高級学校を高校無償化制度の対象としないのは違法だとして、国を相手に大阪地裁に提訴しました。

もうひとつは「大阪府・大阪市補助金裁判」です。大阪府は、橋下徹元府知事時代の

2010年3月、大阪朝鮮学園への補助金不交付を決定。この決定の翌日、大阪市も補助金不支給を発表しました。これを受け大阪朝鮮学園は、2012年9月20日、大阪府及び大阪市に対して補助金不交付処分取消し及び補助金交付を求め行政訴訟を起こしました。

全労協は毎年7月頃に文科省交渉を行います。大阪府市の補助金カットに関して「拉致問題とは別であり、教育上の観点から判断する」と回答していた文科省も、2013年から「指定基準」や「朝鮮総連との関係」を根拠に、「朝鮮

学校は高校無償化の対象外だ」と回答するようになりました。

この日、寒空の中約400人が集まり、道行く人々にピラを配り、マイクアピールを行いました。弁護士から裁判の説明が行われました。多くの人たちに朝鮮学校の本当の姿と、子どもたちが置かれた状況を知って欲しいと保護者、卒業生から力強いアピールが行われました。

国・自治体による排外主義への闘いとも言えるこの2つの裁判は、来年初めに判決が出ます。この闘いを応援しましょう!大椿裕子(執行委員長)

文化おちこち

(173) 労働歌をジャズで聴く

日本で労働歌、と言えば、「がんばろう」や「インターナショナル」。その泥臭さ、勇ましさがいい。ただ、「男らしさ」が強烈で受け付けない人もいだろう。それに、それは聞くものというよりも、みんなで合唱するもの、である。

ピアニストのジョバンニ・ミラバッシは、世界各地の革命歌、反戦歌、民衆の歌を集め、ジャズにアレンジしている。家でBGMとして聞けるのがいい。



"AVANTI!" は、ピアノソロ集。チリにおける反ピノチェ

ト抵抗運動の歌'EL PUEBLO

UNIDO JAMAS SERA

VENCIDO' (邦題「不屈の民」。意味は「団結した民衆は決して敗れない」)からジョン・レノンの'IMAGINE'まで、情熱的な演奏だ。付属のブックレットは写真集としても楽しめる。

"ADELANTE" も同じコンセプトのアルバム。何といても'INTERNATIONAL'がかっこいい。

AVANTIはイタリア語で「前進」、ADELANTEはスペイン語で「前へ」という意味。仕事終わりの家で、酒やコーヒーなどを片手にしんみり聞くのもいいだろう。

ちなみに、このミラバッシさん、アニメが大好きだそうです。最近、ジブリなどのアニメソングのピアノカバー集『ミラバッシ』を出した。真



なくそう官製ワーキングプア・第4回大阪集会 一國・自治体がワークルールを守らなくてどうするネー

11月3日、非正規公務員の現状を訴える第4回目の「なくそう!官製ワーキングプア大阪集会」がエルおおさかで開かれました。

ハローワークや国立大学、そして自治体における非正規公務員への雇止めに対する裁判や闘いについての報告が行われました。吹田市の非常勤職員雇止めに関する10月12日の大阪地裁判決は、「任用は行政処分であり、私法上の労働契約に関する労契法19条の類推適用がない」としており、大阪府がこの間、組合との団交等で示している臨時職員の雇用に対する姿勢そのものでした。増え続ける非正規公務

員問題の解決とはほど遠い司法判断に対して原告は控訴しています。

また、韓国ソウル市における非正規労働者の正規化の報告、滋賀県野洲市山仲市長からは独自条例を制定した公共サービスや公務労働についてシンポジウムがありました。

安倍政権は「同一労働同一賃金」を言い出していますが、これら現場からの報告を聞くにつけ現状はほど遠いと感じます。しかし、参加者からの闘いの報告を聞き、正規、非正規ともに闘いを作っていくことの必要性を感じました。

田辺岸代(執行委員)



当面の日程

11月18日(金) 18:30~20:30 エルおおさか南1023 『とりもどそう! 学校に思想・良心の自由を!!「日の丸・君が代」強制あかん! 処分あかん! 11.18集会(資料代 500円)』

11月24日(木) 18:30~20:30 エルおおさか708 「地方自治と市民参加の今」森裕之さん講演会

11月27日(日) 13:30~15:30 カトリック堺教会 『今さら聞けない放射線ってなァに?』参加費無料



普通名詞のtrumpを英語の辞書で調べてみた 「(動)[他] 1. 札を切り札で切る 2. ...よりも勝る; 人を負かす」

とある さらに、trump upで、「うその話・口実などをでっちあげる,捏造する」 そのうち英語の辞書に載るであろう固有名詞の"TRUMP" これぞ名実一体?